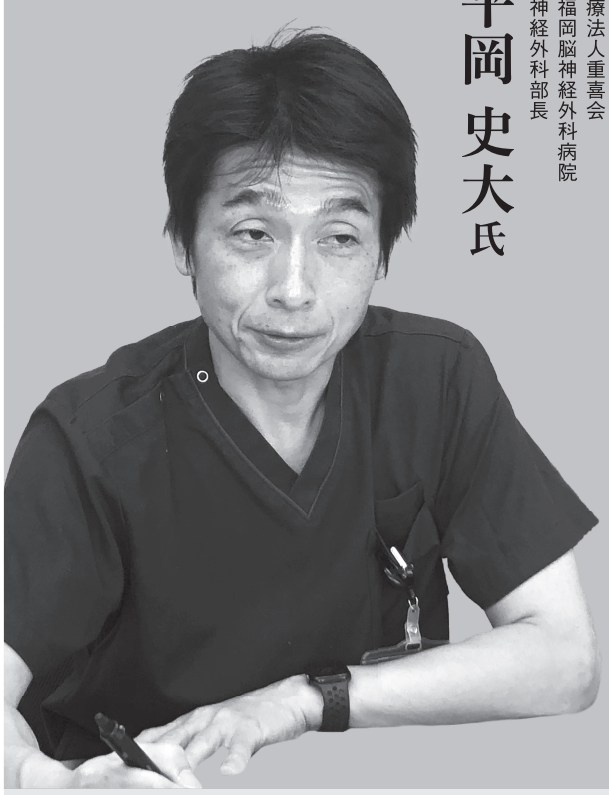
企画・制作：（株）読売広告西部 広告



医療法人重喜会
南福岡脳神経外科病院
脳神経外科部長
平岡 史大 氏

脳神経の病気
三叉神経痛と片側顔面痙攣（けいれん）
根本治療には手術も選択肢

医療法人重喜会
南福岡脳神経外科病院
理事長兼 院長
矢野 茂敏 氏

脳の神経が圧迫されることで起きる「三叉神経痛」や「片側顔面痙攣（けいれん）」。手術によって根治が期待できますが、脳神経の病気と気付いていなかったり、手術という選択肢を知らないという患者さんも少なくありません。医療法人重喜会南福岡脳神経外科病院（福岡市南区）の矢野茂敏理事長兼院長と平岡史大脳神経外科部長に病態や診断、治療について伺いました。

――まず、南福岡脳神経外科病院の概要からお聞きします。

矢野　当院は2023年7月に開業した病院ですが、脳腫瘍、下垂体疾患の手術治療と機能外科を専門とする脳神経外科と内科・リハビリ部門を併設した病院です。

平岡　脳神経外科部門では二つのセンターを開設。「下垂体・内分泌センター」では、下垂体腺腫（腫瘍）などの診断と治療、「低侵襲脳腫瘍・機能外科センター」では脳腫瘍や今回のテーマの三叉神経痛や顔面痙攣などについて、脳と神経を損傷しにくい優しい（低侵襲な）手術を目指しています。

血管が三叉神経を圧迫 顔面に激烈な痛み

――三叉神経痛とはどのような病気でしょうか？

平岡　三叉神経は顔面の痛みや温度、触覚などを脳に伝える感覚神経です。その名の通り脳幹から3本の枝に分かれており、第1枝は前頭部や目の周り、第2枝は上顎、第3枝は下顎の周りの感覚を支配しています。

三叉神経痛は、この神経に覆われている顔に痛みが生じる病気で、目の周りや頬、奥歯などにズキッとした激烈な痛み（電撃痛）が短時間発生し、何度も繰り返すのが特徴です。痛みは、歯磨きや洗顔、食事などの日常動作で誘発され、生活への支障が出ます。

矢野　大きく分けて二つのタイプがあり、典型的三叉神経痛は主に頭蓋骨内にある血管によって三叉神経が圧迫されることで発症します。また二次性三叉神経痛は、腫瘍や動脈瘤などが原因となり、脳を覆っているくも膜と神経が癒着して起きることもあります。発症は50歳代以降に多く見られ、男性より女性に多い傾向ですが、二次性の場合はあらゆる年代に見られます。

筋肉が意図しない動き 顔の片側がピクピク、痙攣

――片側顔面痙攣とはどのような病気でしょうか？

矢野　顔の筋肉の動きを司る顔面神経が、脳幹から出てくる根元の場所で血管に触れ、その刺激によって意図しない動き＝痙攣が起きる病気です。通常は片方の顔面に現れるので「片側顔面痙攣」と呼ばれます。症状の多くは、目の下あたりがピクピクすることから始まり、徐々に頬や口の周りなどに範囲が広がります。

平岡　痙攣の程度が強くなると、顔が突っ張ってゆがんだ状態になったり、目を開けることが難しくなります。また、痙攣の頻度は、最初は時々ですが次第に長くなり、ひどくなると一日中起こるようになることもあります。顔面神経は、筋肉を動かす運動神経なので、痛みは伴いにくいのが特徴です。

特徴的な症状 問診や画像検査で診断

――検査・診断についてお聞きします。

矢野　三叉神経痛も片側顔面痙攣も、まずは問診によって、その特徴的な症状を確認することが大切です。痛みの度合いは、人によって異なり、時に歯の痛みと間違って認識され、歯科や口腔外科など専門外の医療機関を受診する人もいます。顔面痙攣は、緊張やストレスによってより強く出ることがあり、どんな状況下で出現するかなどの情報も大事です。

平岡　さらに頭部MRIや頭部CTによる画像検査を行い、神経に物理的な刺激が加わっていないかどうかを確認して血管と神経が接触しているような画像と症状が一致すれば、精度の高い診断ができます。脳腫瘍や脳動脈瘤など、類似の症状をきたす病気が疑われる場合は、それらを除外する検査も行います。

薬物療法や手術療法で 高い治癒率を目指す

――治療はどのように行われますか。

矢野　三叉神経痛と顔面痙攣のどちらも、根本治療となるのは、いまのところ手術療法のみです。しかし、最初から手術という訳ではなく、三叉神経痛の場合は、まず脳の神経に作用する薬を内服して、痛みを抑えます。これで収まれば良いのですが、薬はだんだん効かなくなり、めまいなど副作用の心配が出てきます。薬物療法が効かない場合は、ガンマナイフ治療（放射線療法）なども検討されます。

顔面痙攣に対しては、ボツリヌス毒素（ボツリヌストキシン）の注射による治療が多くの場合で第一選択になります。薄めた毒素で筋肉を麻痺させ症状を改善しますが、効果が続くのは3～4か月程度で、何回も繰り返して行う必要があります。

平岡　根治を目指して行う手術は、「神経血管減圧術」などと呼ばれる方法です。三叉神経痛、顔面痙攣とも、耳の後ろを切開して2～3cmほどの大きさの穴を開け、そこから脳の神経に触れている血管を確認し、神経から離して移動させ、神経の圧迫を解除します。三叉神経痛の多くは術後速やかに痛みがやわらぎます。顔面痙攣は圧迫の程度によりますが、手術後数か月かけて消失することもあります。80～90%以上の高い治癒率が報告されています。

矢野　全身麻酔をして手術時間は2～3時間程度。聴力障害や顔面神経麻痺など合併症のリスクを避けるために、手術は神経内視鏡や外視鏡（手術用顕微鏡システム）を併用して病変を確認し、大きな画面で聴神経や顔面神経の状態をモニタリングしながら適格に行います。また、三叉神経痛の手術では、「神経内剥離術」などと呼ばれ、神経線維に切れ込みを入れて神経線維同士の連絡を遮断して痛みを解消する比較的新しい方法が開発され、神経血管減圧術後の再発防止やはっきりした圧迫血管がない場合などに行われています。

進歩する低侵襲手術 専門医療機関で納得の治療を

――最後に日頃からの注意などアドバイスをお願いします。

平岡　顔の痛みや痙攣で、長年苦しんでいる方は少なくありません。しかし、直接命に関わらないこともあって、治療を諦めている方も見受けられます。そうした方が、進歩した手術治療などを受けられ、「10年ぶりに満足に食事ができた」などと喜ばれています。予防できる病気ではありませんので、症状が出たら早めに経験の豊富な専門医療機関を受診し、十分な説明を聞いた上で納得のいく治療を受けてください。

矢野　当院に限らず、医療機関や医療従事者は可能な限り身体へのダメージが少ない低侵襲の治療を目指しています。また、手術方法や医療機器は進歩し、治療の選択肢は増えています。医師と関係スタッフが一体化して、患者さんに寄り添う治療に努めていますので、顔面に異常が現れたらためらうことなく専門の医療機関に相談し、それぞれの患者さんに最も適した治療を選択していただきたいと思います。

外視鏡と内視鏡を用いた脳神経減圧術の手術風景

医療法人 重喜会 南福岡脳神経外科病院 〒811-1313 福岡県福岡市南区曰佐5丁目2番23号 TEL:092-591-8171（代表）